

## 「令和2年度 函館市医療・介護連携多職種研修会」

### 医療関係者向け研修会（動画公開）【質問と回答】

テーマ：「訪問看護の機能と役割」

講師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院

在宅療養支援室 訪問看護 看護師主任 白川 直子 様

#### 質問と回答

**質問：**訪問看護とは違うかもしれないが、患者個人の回復度の違いや家族の理解度も関係してくると思うが、急性期病院の訪問看護としての苦労などを聞いてみたい。外来もやっているのだから、うまく説明できないが、急性期病院に訪問看護はいらないのではという意見もあったのではないかと思う。

**回答：**急性期病院の訪問看護では特に状態が不安定な患者や、主治医とこまめに連携が必要な患者の依頼が多いのですが、当院では訪問診療や往診は行っていないため、自宅での急変や苦痛症状への対応などでは看護師の力量によって患者の在宅療養の継続に大きく影響があり、苦労というよりは緊張する場面が多くあります。また、癌の告知後や治療早期から関わることも多いのですが、治療が困難となり、終末期へ移行するまでに「良い時期に良い形」で在宅医や訪問看護ステーションに移行できるように地域へ「つないでいく」という大きな役割があると思っています。急性期病院だからこそ訪問看護が必要なのではないかと思います。

**質問：**新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下の本年4月から5月の期間中、訪問看護師として活動する中でどのようなことで一番苦労しましたか？

**回答：**緊急事態宣言によりリモートワークや外出自粛となったこともあり、患者の遠方に住む家族などが普段はなかなか来られないからと帰省することが何件もありました。病状があまり良くない患者では看護師側から帰省を止めることはできず、できる限りの予防策をとって必要な訪問は継続していました。また、物品の流通不足により、自宅で創部の処置に使用するガーゼや消毒なども入手困難となったため、工夫に苦労しました。市内の訪問看護ステーションでも同じような苦労があったようです。

**質問：**訪問看護は医師の指示が必要とのことですが、訪問看護が必要かどうかは患者さんの居宅に伺ってからでないとお考えになったことは過去にございましたか？（例えば、自宅の内装やお薬などの自己管理の状況など）そういった状況になったことがあればその対応例を教えてください。

**回答：**訪問看護について医師の指示を待って訪問という事例はほとんどありません。当院では外来や病棟でリスクのある方を見つけて、なるべくこちらから早めに情報提供をする方法で訪問看護や介護サービスの調整につなげています。医療者側からはリスクが高いと感じて情報提供をしても、まだ必要ないとする患者・家族もいますが、困ったときにその情報を元に相談に来られる方も増えてきています。情報提供ののちに患者・家族が訪問看護を希望されれば主治医に相談し指示をもらうという流れになることが多いです。  
症状コントロールや病状観察などの目的で訪問看護が開始になり、自宅に伺ったときに内服薬の自己管理に問題があることがわかり、内服薬の管理を行うだけで体調が安定した事例などはありました。

**質問：**調剤薬局の薬剤師ですが、訪問看護の方に協力できること、協力してほしいことなどありますでしょうか。

**回答：**調剤薬局の薬剤師さんには日頃からお世話になっています。当院訪問看護では外来待ち時間の短縮のため、なるべく自宅に宅配していただける自宅近くの薬局をご紹介します。かかりつけ薬局を定めてもらうよう提案しています。  
また、より専門的な視点での薬剤管理が必要と思われる場合には、訪問薬剤管理指導の利用をお願いし、関わっていただいている事例もあります。  
調剤薬局の薬剤師さんと協力できると、質の高いケアが行えるので、訪問看護連絡協議会や当院であれば、在宅療養支援室など窓口となるところへアピールしていただけるとこちらからもお声をかけやすいので、お願いいたします。